



JRI news release

2000年10～12月期GDP統計予測

2001年2月23日

株式会社 日本総合研究所
調 査 部

本レポートに関するご照会等は、調査部・石川(誠)までお願い致します。
(TEL:03-3288-4338[直通] E-Mail:isikawam@ird.jri.co.jp)

1. 全体的な評価

2000年10～12月期の実質GDPは、前期比+0.3%（年率換算+1.2%）と、わが国景気の回復ペース鈍化を示す内容となった見込み。

すなわち、設備投資、住宅投資を中心に2四半期ぶりのプラス成長となったものの、輸出のピークアウト、個人消費の足踏み、流通在庫圧縮ペースの加速を主因に、7～9月期のマイナス成長（前期比0.6%、年率換算2.4%）からの戻りとしては弱い動きにとどまった模様。

2. 主要需要項目の動き

イ) 個人消費（実質：前期比0.3%、年率換算1.1%）

物価下落による消費喚起効果は持続しているものの、雇用者所得の改善ペースが緩やかなものにとどまっていることに加え、株価下落に伴う逆資産効果の顕在化、消費者マインドの慎重化がみられるなか、総じてみれば足踏み状態（前期比マイナスは4四半期ぶり）。

ロ) 住宅投資（実質：前期比+4.7%、年率換算+20.1%）

「経済新生対策」（1999年11月）における住宅ローン減税延長の適用期限（～2001年6月入居分）をにらんだ駆け込み建設の動きが、分譲マンションを中心に盛り上がり（もっとも、今回の拡大は需要を先食いしている側面があり、増加の持続性には疑問）。

ハ) 設備投資（実質：前期比+4.2%、年率換算+17.9%）

2000年度中間期の好決算、eビジネスの展開、生産性向上を目的としたIT関連投資の積極化を背景に、大幅プラスを記録。

ニ) 在庫投資（実質GDP前期比への寄与度：0.2%ポイント、同年率寄与度：0.7%ポイント）

流通段階（とりわけ卸売業）における在庫圧縮の動きが、生産財メーカーにおける製品在庫の積み上がり規模を大きく上回った模様。ちなみに、12月末時点における流通業の商品手持額（名目、大規模店舗ベース、経済産業省調べ）は、卸売業が前年比8.6%、小売業が同4.9%。

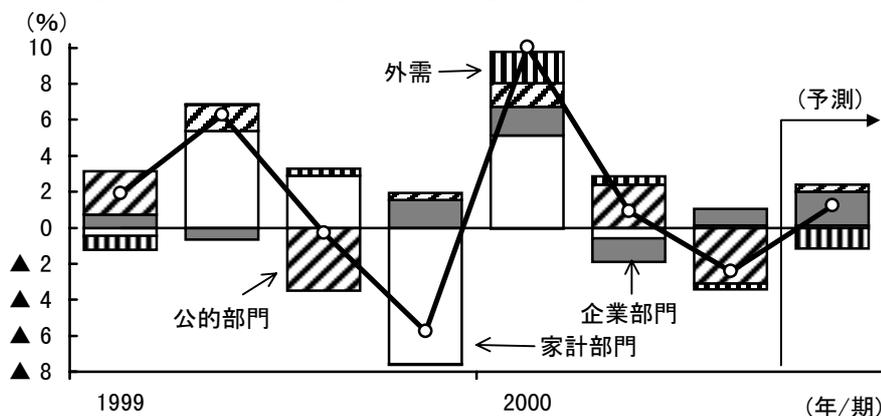
ホ) 公共投資（実質：前期比0.1%、年率換算0.3%）

地方自治体による投資抑制が続くなか、昨年後半は、経済対策効果が端境期に。この結果、7～9月期の大幅マイナス（前期比10.7%、年率換算36.5%）の後、10～12月期も減少傾向が持続。

ヘ) 純輸出（実質GDP前期比への寄与度：0.3%ポイント、同年率寄与度：1.1%ポイント）

輸出、輸入いずれもGDP押し下げに作用。実質輸出は、電子デバイス、産業機械を中心としたアジア向けの冷え込みを主因に、7四半期ぶりの前期比マイナス（0.1%、年率換算0.4%）。一方、実質輸入は、生産拠点の海外シフトに伴う逆輸入の増加、消費財、資本財を中心とした、国内製品から輸入品への代替の動きを背景に、前期比+3.2%（年率換算+13.3%）の大幅プラス。

（図表1）わが国実質成長率の部門別寄与度＜前期比年率ベース＞



（注）家計部門＝個人消費＋住宅投資
 企業部門＝設備投資＋民間在庫投資
 公的部門＝政府消費＋公共投資＋公的在庫投資
 外需＝輸出－輸入

3. 今後の見通し

以上の2000年10～12月期の予測を踏まえ、2001年度にかけてのわが国景気を展望すると、一段のスローダウンが予想されるなか、調整色が出る公算大。具体的には、以下の通り。

本年1～3月期から4～6月期にかけては、「日本新生のための新発展政策」（2000年10月発表）の効果顕在化を主因に、成長率はやや高めに出るものの、輸出の一段の冷え込み、企業の増益ペース鈍化を背景とした設備投資の減速、企業の人件費抑制が続くなか、個人消費の回復力が依然微弱にとどまることを背景に、景況感は悪化の方向（この結果、2000年度の実質成長率は+1.1%と、1999年度の+1.4%対比低下）。

年央以降は、個人消費の「低空飛行」が続くこと、設備投資の減速感が一段と強まること、経済対策効果の一巡に伴い、公共投資の減勢が加速することなどから、景気調整色が強まる展開へ。この結果、2001年度の実質成長率は+0.9%にとどまる見通し（予測値は現時点における暫定値。2000年10～12月期GDP統計1次速報値が公表され次第、修正予測を改めて発表する）。

もっとも、米国景気が本年後半にも回復軌道に復帰することを前提にすれば、IT関連需要の底堅さ、企業部門の財務体質改善、金融システムに対するセーフティネットの充実などを背景に、1997～98年にみられたようなスパイラル的悪化は回避。

(図表2)2000～01年度わが国実質成長率・物価見通し<暫定>

(半期は前期比年率、%)

	1999年度			2000年度			2001年度		
	上期	下期	(実績)	上期	下期	(予測)	上期	下期	(予測)
実質GDP	3.5	▲ 0.6	1.4	2.2	0.6	1.1	1.3	0.1	0.9
個人消費	5.0	▲ 3.4	1.5	2.3	▲ 0.2	0.1	1.0	0.7	0.7
住宅投資	15.2	▲ 0.3	5.1	▲ 6.0	11.0	▲ 0.6	▲ 4.2	▲ 12.7	▲ 2.5
設備投資	▲ 0.7	7.9	▲ 1.0	▲ 1.7	13.6	4.5	4.9	1.3	5.8
在庫投資	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.1	0.2	▲ 0.4	▲ 0.0	0.5	0.0	0.1
政府消費	5.0	2.9	4.0	4.0	2.4	3.3	0.8	1.3	1.3
公共投資	▲ 5.2	▲ 9.8	▲ 0.7	0.9	▲ 9.7	▲ 4.5	0.8	▲ 9.2	▲ 4.1
純輸出	▲ 0.1	0.5	0.0	0.6	▲ 0.9	0.2	▲ 0.5	0.3	▲ 0.4
輸出	6.0	13.3	5.3	13.2	▲ 0.8	9.5	▲ 0.1	5.8	1.2
輸入	8.7	10.1	6.2	9.8	9.3	9.7	5.0	3.7	5.7
名目GDP	0.0	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.7	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 1.2	▲ 0.7
消費者物価	▲ 0.1	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.6

→ (予測)

(注1) 在庫投資、純輸出は前期比年率(前年比)寄与度。

(注2) 名目GDP、消費者物価は前年(同期)比。

(注3) 上記予測値は、2000年10～12月期の当社見込み値(前期比年率+1.2%)を前提とした暫定値。

4. 経済政策の方向性

成熟分野維持を主眼とした従来型経済対策を打ち出しても、地方公共事業の下振れから、景気浮揚効果が顕在化しない公算大。むしろ、国民・マーケットの信用失墜により、逆効果となる恐れ。

もはや従来型対策による景気浮揚が事実上不可能となった現在、経済政策の軸足は、成熟分野の処理円滑化と成長分野への経営資源再配置を主眼とした構造改革型にシフトするほかない。こうした政策の抜本転換により、衰退分野の調整進展に伴うデフレ圧力の強まりは避けられないものの、経済の高付加価値化・持続的成長への展望を開く点で、むしろ、株価や企業・個人マインドの早期回復をもたらし、改革の円滑な推進が期待可能に。

具体的には、以下の施策を積極的に打ち出すべき。

- イ) 新たな成長セクターの創出・既存産業の高付加価値化に向けた、産学融合の推進、知的財産権保護ルール・起業インフラの整備(エンジェル税制拡充など)
- ロ) 成長分野への経営資源移動を円滑化するための、会社分割税制など事業再編関連税制の拡充、能力開発システムの整備、人材ビジネスの自由化推進

(図表3) 2000年10～12月期GDP統計予測表

	実質GDP(季調値年率、単位:10億円)									
	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫	輸出	輸入	
1998年度	518380.9	285094.0	19515.2	81958.9	▲ 289.8	79998.1	40704.6	0.3	51864.3	40464.7
1999年度	525696.0	289454.2	20504.1	81102.3	▲ 698.9	83202.8	40421.7	87.4	54605.7	42983.3
1999/ 4～6	527033.3	290093.9	20621.5	79189.4	▲ 409.7	82095.1	44625.8	132.5	52199.9	41515.1
7～9	526639.2	294008.5	20480.0	79692.2	▲ 955.8	83124.4	38964.5	115.6	53588.1	42378.3
10～12	518878.3	284187.0	20056.2	81763.4	▲ 1000.1	83371.1	39398.3	▲ 71.6	55097.0	43923.0
2000/ 1～3	531437.2	289823.2	20977.0	83288.1	▲ 464.2	84219.6	39989.5	180.3	57523.4	44099.7
4～6	532640.2	290194.1	19846.1	81205.3	▲ 171.4	85244.6	42139.9	159.3	59840.7	45818.4
7～9	529380.3	290289.9	19938.4	82419.7	▲ 205.5	85703.1	37615.0	52.1	59977.4	46409.8
10～12 (予測)	530978.7	289493.6	20874.2	85875.2	▲ 1195.9	86349.1	37585.7	▲ 50.4	59923.6	47876.4

	実質GDP(前期比年率、民間在庫投資・公的在庫投資は前期差、単位:%)									
	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫	輸出	輸入	
1999/ 4～6	6.3	8.0	32.0	▲ 4.4	58.4	4.6	8.1	88.9	7.3	8.9
7～9	▲ 0.3	5.5	▲ 2.7	2.6	▲ 546.1	5.1	▲ 41.9	▲ 16.9	11.1	8.6
10～12	▲ 5.8	▲ 12.7	▲ 8.0	10.8	▲ 44.3	1.2	4.5	▲ 187.2	11.7	15.4
2000/ 1～3	10.0	8.2	19.7	7.7	535.9	4.1	6.1	251.9	18.8	1.6
4～6	0.9	0.5	▲ 19.9	▲ 9.6	292.8	5.0	23.3	▲ 21.0	17.1	16.5
7～9	▲ 2.4	0.1	1.9	6.1	▲ 34.1	2.2	▲ 36.5	▲ 107.2	0.9	5.3
10～12 (予測)	1.2	▲ 1.1	20.1	17.9	▲ 990.4	3.0	▲ 0.3	▲ 102.5	▲ 0.4	13.3

	実質GDP(前年比、民間在庫投資・公的在庫投資は前年差、単位:%)									
	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫	輸出	輸入	
1998年度	▲ 0.6	1.3	▲ 10.4	▲ 5.2	▲ 3263.9	2.5	1.8	▲ 218.7	▲ 3.7	▲ 6.6
1999年度	1.4	1.5	5.1	▲ 1.0	▲ 409.1	4.0	▲ 0.7	87.1	5.3	6.2
1999/ 4～6	1.1	2.1	2.5	▲ 7.7	▲ 182.5	3.6	14.1	▲ 14.9	▲ 0.6	1.9
7～9	1.6	2.3	5.1	▲ 4.4	▲ 160.1	4.6	4.8	27.8	2.9	4.2
10～12	0.3	▲ 0.2	4.6	2.9	▲ 87.7	4.0	▲ 6.8	31.7	6.7	10.3
2000/ 1～3	2.6	2.1	8.7	4.2	21.2	3.8	▲ 7.7	42.5	12.3	8.5
4～6	1.3	0.1	▲ 3.3	2.7	60.6	3.8	▲ 5.2	10.4	14.6	10.4
7～9	0.6	▲ 1.1	▲ 2.5	3.3	170.6	3.1	▲ 4.1	▲ 11.5	12.0	9.5
10～12 (予測)	2.2	2.0	3.8	5.0	▲ 46.2	3.6	▲ 4.9	▲ 6.0	8.6	9.0

	実質GDP・前期比年率への寄与度(%ポイント)					実質GDP・前年比への寄与度(%ポイント)				
	内需				外需	内需				外需
		民需	官公需				民需	官公需		
1998年度						▲ 0.6	▲ 0.7	▲ 1.2	0.5	0.2
1999年度						1.4	1.4	0.8	0.6	0.0
1999/ 4～6	6.3	6.3	4.8	1.4	0.0	1.1	1.4	▲ 0.0	1.4	▲ 0.2
7～9	▲ 0.3	▲ 0.7	2.9	▲ 3.5	0.4	1.6	1.7	0.6	1.1	▲ 0.0
10～12	▲ 5.8	▲ 5.7	▲ 6.1	0.4	▲ 0.0	0.3	0.4	0.4	▲ 0.0	▲ 0.1
2000/ 1～3	10.0	8.2	6.8	1.3	1.7	2.6	2.1	2.2	▲ 0.0	0.5
4～6	0.9	0.5	▲ 1.9	2.4	0.5	1.3	0.6	0.3	0.3	0.6
7～9	▲ 2.4	▲ 2.1	1.0	▲ 3.1	▲ 0.3	0.6	0.1	▲ 0.1	0.2	0.5
10～12 (予測)	1.2	2.4	2.0	0.4	▲ 1.1	2.2	2.1	2.0	0.1	0.2

	名目GDP			GDPデフレーター	
	(季調値年率、10億円)	(前期比年率、%)	(前年比、%)	(原数値、95年=100)	(前年比、%)
1998年度	514456.6		▲ 1.1	99.2	▲ 0.5
1999年度	513682.5		▲ 0.2	97.7	▲ 1.5
1999/ 4～6	519130.3	4.8	▲ 0.0	99.8	▲ 1.2
7～9	514353.1	▲ 3.6	0.1	96.0	▲ 1.5
10～12	506027.4	▲ 6.3	▲ 1.5	99.3	▲ 1.7
2000/ 1～3	517396.2	9.3	0.9	95.9	▲ 1.7
4～6	515265.6	▲ 1.6	▲ 0.6	98.0	▲ 1.8
7～9	508954.6	▲ 4.8	▲ 0.8	94.6	▲ 1.4
10～12 (予測)	510320.4	1.1	0.8	97.9	▲ 1.4